



病院勤務医師支援事業等を実施しました！

7月7日(火)に益田赤十字病院において、病院勤務医師支援事業および赴任医師歓迎事業、あわせて、秦佐八郎博士顕彰医学生奨学金義務的勤務終了医師への感謝状贈呈を実施しました。

病院勤務医師支援事業では、市内の病院での勤務が10年を経過した2名の医師(当日1名欠席)に、感謝状と特産品の目録を贈呈しました。赴任医師歓迎事業では、市外から赴任された16名の医師(当日6名欠席)に、市内観光施設の入館券および特産品を贈呈しました。さらに、市で1人目の奨学金貸与医師が昨年度末で義務的勤務を終了されたことに対し、感謝状を贈呈しました。



これまでの永年にわたる勤務や、益田市に赴任いただいたことに対する感謝の気持ちを伝えるとともに、これからも市内でご活躍いただくことをお願いしました。



益田赤十字病院の木谷院長からは、「過去には医師が大幅に減った時期もあったが徐々に増えてきている。また、市出身医師の勤務のおかげでさらに市出身医師が赴任するという流れができてきた。今後も益田日赤を希望する医師が増えるように取組んでいきたい。」と、思いのこもった挨拶がありました。

～在宅医療を受けている方やご家族の皆さんへ～ 「在宅医療廃棄物」の出し方について

10月1日から、「在宅医療廃棄物」の一部を、燃やせるごみとして収集します。

ごみを出すときや収集作業の際に、針刺し等による事故の危険がありますので、必ず正しい方法で出してください。ご協力をお願いします。

燃やせるごみとして出せるもの

◎新聞紙などに包み、ほどけないようにして、燃やせるごみの指定袋に入れてごみステーションに出してください。

- ・脱脂綿・ガーゼ類
- ・チューブ類・カテーテル ※ 30cm 程度に切ってください
- ・ビニール・プラスチック製のバッグ類
※点滴バッグ、CAPD バッグなどで針や血液が付着していないもの
- ・おむつ・ストーマなど ※排泄物を取り除いてください
- ・注入器
- ・ペン型自己注射カートリッジ (針は取り外して医療機関や薬局に返却)



チューブ類・カテーテル



点滴バッグ



CAPDバッグ



ストーマ
(人工肛門)



注入器

市では収集できないもの(ごみとして出せないもの)

◎これまでどおり、受け取った医療機関や薬局へ返してください。

- ・注射針、点滴針、ペン型自己注射針(カートリッジから取り外せない針はカートリッジごと)などの鋭利なもの ※針のついた注射器やチューブ類を含む
- ・血液が付着した医療器具



【問い合わせ先】市環境衛生課 ☎ 31-0698